

- ・ **アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)**の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は下痢、粘血便です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年初めての報告です。
- ・ **ウイルス性肝炎(C型)**の報告が1例(60歳代男性)(第1週追加報告分)あり、症状は肝機能異常、黄疸、掻痒感です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年初めての報告です。
- ・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例(40歳代女性)あり、症状はショック、腎不全、軟部組織炎です。本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(60歳代女性)あり、本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(40歳代男性)(第1週追加報告分)あり、感染経路は性的接触です。本年初めての報告です。
梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け、コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見、早期治療が非常に重要です。
- ・ **百日咳**の報告が1例(40歳代女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内で、感染経路は家族内感染です。本年初めての報告です。
- ・ **インフルエンザ**の京都市の定点当たり報告数は31.7(2,185例)で、前週の約4倍となり、警報レベルの30を超えました。全国では38.5、京都府では35.5でした。32の都道府県で警報レベルの30を超えています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の8.10(559例)から31.67(2,185例)と激増し、警報レベルの指標である「30」を上回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 3例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 4例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 0例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:ウイルス性肝炎(C型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	31. 67	2, 185
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8. 91	383
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 12	48
	③ 伝染性紅斑	0. 72	31
	④ 水痘	0. 42	18
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 26	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 80	8

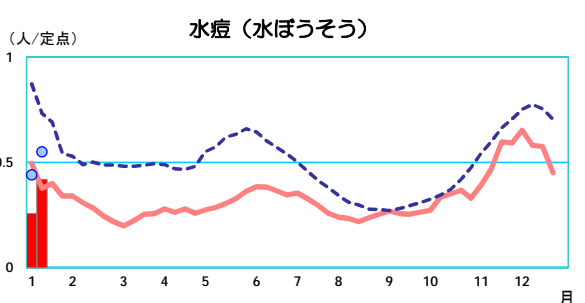
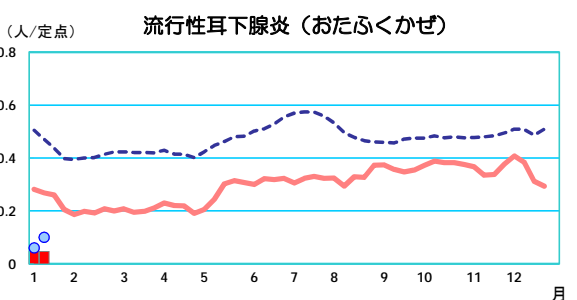
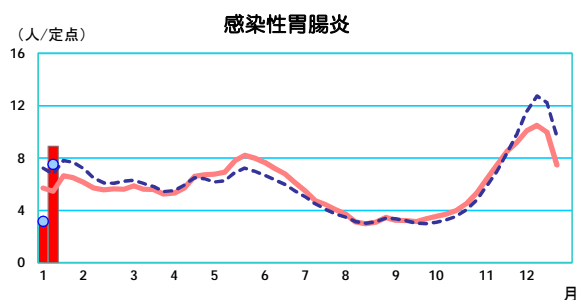
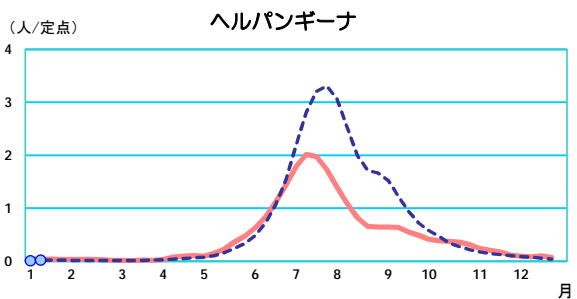
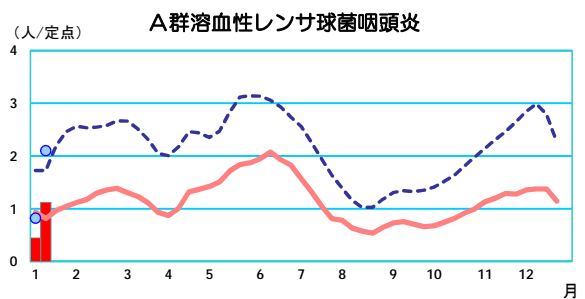
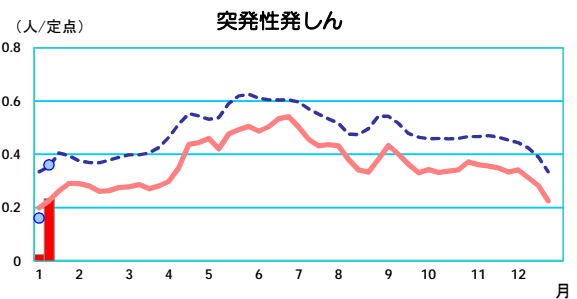
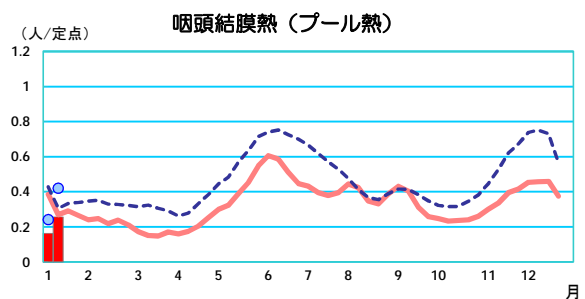
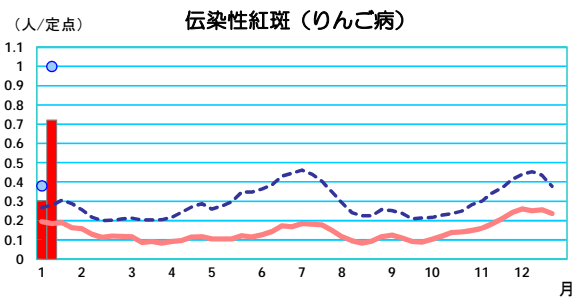
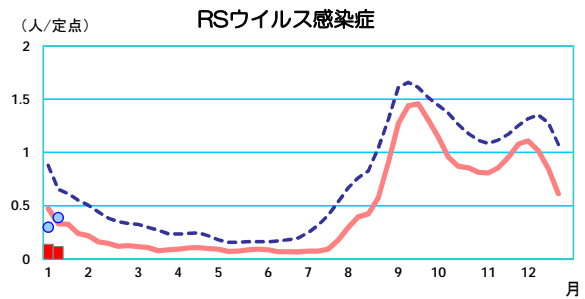
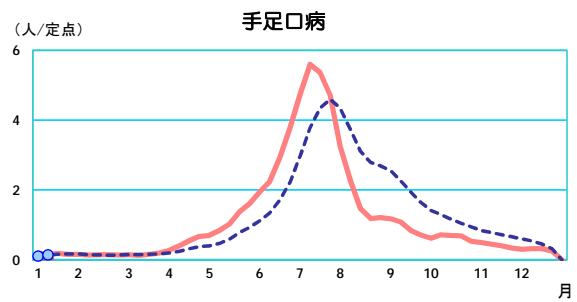
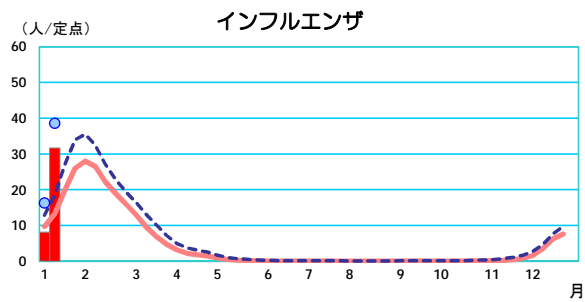
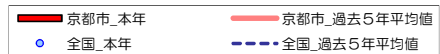
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年1月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第2週(1月7日～1月13日)トピックス:＜インフルエンザ＞

＜京都市及び全国の発生動向＞

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の8.10(559例)から31.67(2,185例)と激増し、警報レベルの指標である「30」を上回りました。全国では、昨年第52週に16.30と注意報レベルの指標「10」を上回っていましたが、今週は38.54となり、警報レベルを上回りました(図1)。

本市の過去5シーズンの年齢別報告割合を見ると、例年、14歳以下の子どもが6割前後を占めていますが、本シーズンは現在まで5割にとどまり、その反面20歳以上の成人の占める割合が大きく、4割を超えています(図2)。今後は家族内を含めた、子どもや高齢者に拡散しないよう注意が必要です。

＜今後の動向＞

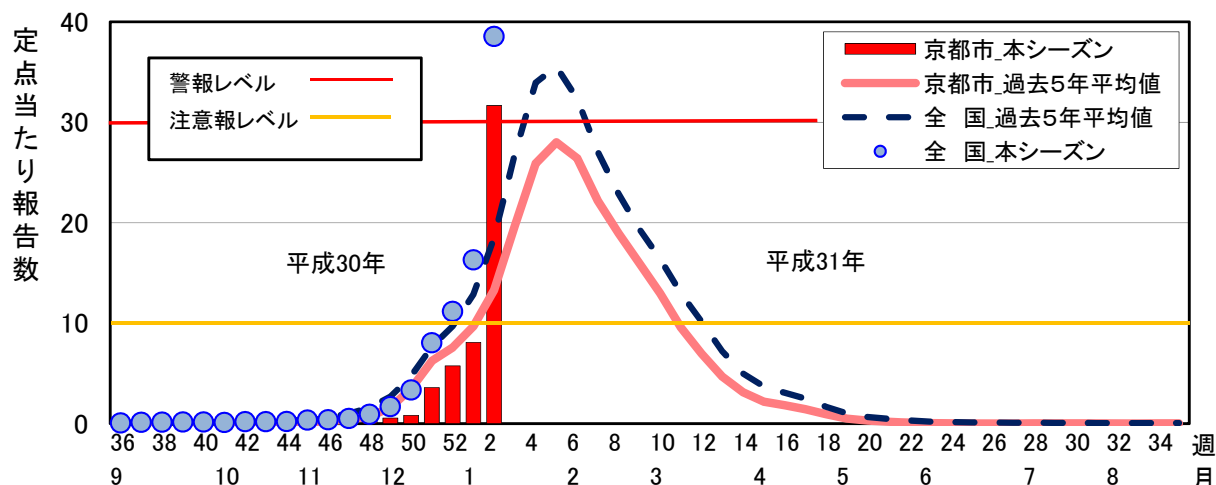
京都市の過去5シーズン流行状況を見ると、例年、注意報レベルを上回った後、一気に報告数が増加し、1～5週間で流行のピークに達しています。ピークに達した後は注意報レベルを下回るまで5～8週間と、報告数の多い状況が長期間続いています(表1)。今シーズンも同様の傾向となることが予想されますので、体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど、予防を徹底し、流行の拡散を防ぐよう努めましょう。

インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。

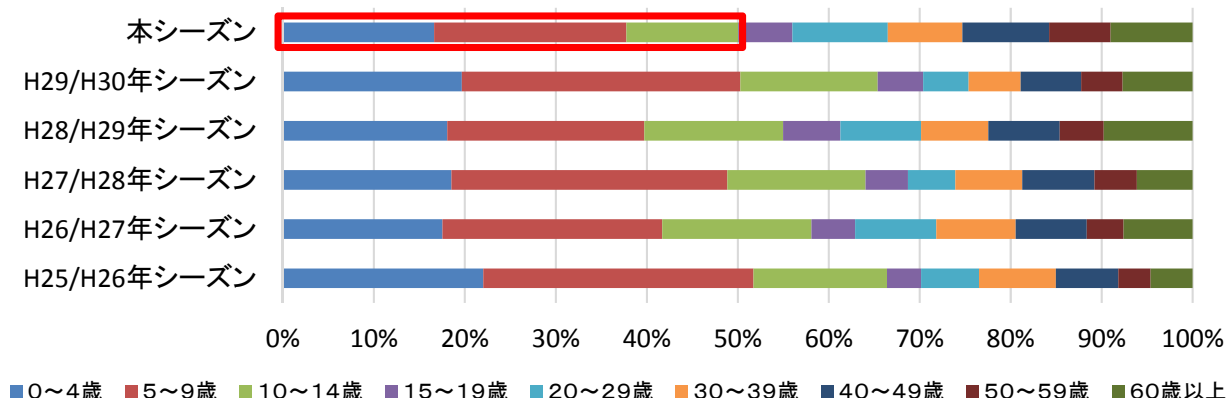
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

(図1) 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2) 京都市の年齢別報告割合 (H31年第2週まで)



(表1) 京都市の最近5シーズンの流行状況

シーズン	H25/H26	H26/H27	H27/H28	H28/H29	H29/H30	H30/H31
「10」を上回った週	第3週	第51週	第4週	第2週	第52週	第2週
ピーク時の週	第5週	第52週	第7週	第4週	第5週	
「10」を上回ってからピーク時までの期間	2週間	1週間	3週間	2週間	5週間	
ピーク時から「10」を下回るまでの期間	8週間	7週間	5週間	6週間	6週間	

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年1月7日～2019年1月13日

データ入手日:2019年1月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	2,185	10	17	85	101	121	87	116	110	126	104	64	275	119	193	153	180	126	77	70	51
RSウイルス感染症	年齢3	5	2	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		11	－	－	2	2	1	3	1	－	－	－	1	1	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	－	－	1	3	7	3	7	6	1	5	1	6	4	4						
感染性胃腸炎		383	4	32	81	44	37	23	31	21	10	12	11	23	10	44						
水 痘		18	－	1	1	－	3	2	3	3	2	－	1	2	－	－						
手 足 口 病		4	－	－	2	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		31	－	－	－	4	4	3	7	4	4	1	2	1	－	1						
突発性発しん		10	－	2	6	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2	－	2	－	1	2	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	31.67	0.14	0.25	1.23	1.46	1.75	1.26	1.68	1.59	1.83	1.51	0.93	3.99	1.72	2.80	2.22	2.61	1.83	1.12	1.01	0.74
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	0.05	0.05	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.26	－	－	0.05	0.05	0.02	0.07	0.02	－	－	－	0.02	0.02	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.12	－	－	0.02	0.07	0.16	0.07	0.16	0.14	0.02	0.12	0.02	0.14	0.09	0.09						
感染性胃腸炎		8.91	0.09	0.74	1.88	1.02	0.86	0.53	0.72	0.49	0.23	0.28	0.26	0.53	0.23	1.02						
水 痘		0.42	－	0.02	0.02	－	0.07	0.05	0.07	0.07	0.05	－	0.02	0.05	－	－						
手 足 口 病		0.09	－	－	0.05	0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		0.72	－	－	－	0.09	0.09	0.07	0.16	0.09	0.09	0.02	0.05	0.02	－	0.02						
突発性発しん		0.23	－	0.05	0.14	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.05	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	0.02	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.80	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	0.20	－	0.20	－	0.10	0.20	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年1月16日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		38	57	247	458	559	2,185
RSウイルス感染症		6	10	11	16	6	5
咽 頭 結 膜 熱		15	17	18	23	7	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		47	67	71	45	19	48
感染性胃腸炎		282	351	391	303	130	383
水 痘		24	29	25	21	11	18
手 足 口 病		12	21	18	11	5	4
伝 染 性 紅 斑		21	19	18	27	13	31
突発性発しん		16	18	6	13	1	10
ヘルパンギーナ		3	8	5	2	1	1
流行性耳下腺炎		1	1	3	2	2	2
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		3	4	4	3	1	8
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		468	602	817	924	755	2,706

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.55	0.83	3.58	6.64	8.10	31.67
RSウイルス感染症		0.14	0.23	0.26	0.37	0.14	0.12
咽 頭 結 膜 熱		0.35	0.40	0.42	0.53	0.16	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.09	1.56	1.65	1.05	0.44	1.12
感染性胃腸炎		6.56	8.16	9.09	7.05	3.02	8.91
水 痘		0.56	0.67	0.58	0.49	0.26	0.42
手 足 口 病		0.28	0.49	0.42	0.26	0.12	0.09
伝 染 性 紅 斑		0.49	0.44	0.42	0.63	0.30	0.72
突発性発しん		0.37	0.42	0.14	0.30	0.02	0.23
ヘルパンギーナ		0.07	0.19	0.12	0.05	0.02	0.02
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	0.07	0.05	0.05	0.05
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.30	0.40	0.40	0.30	0.10	0.80
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		10.78	13.81	17.14	17.71	12.74	44.40

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。